

ぎふグローバル ニュース「Co-Work」 32 号 H27/9/1

1 年生

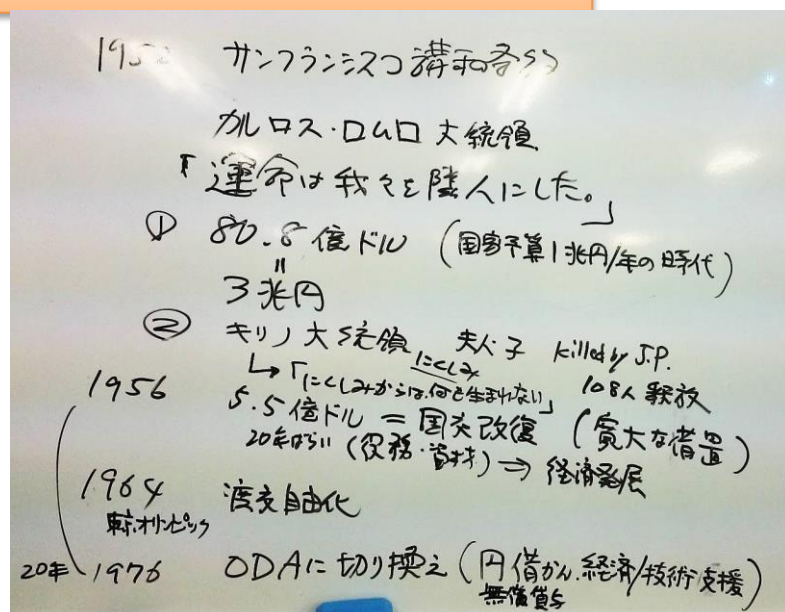
9 月 1 日、フィリピンで戦跡ツアーなどのガイドをやってみえるスエナガヒデコさんとテレビ会議をつないでお話を伺いました。

◆スエナガヒデコさんプロフィール◆

フィリピン在住。フィリピンでの研修旅行を担当し、ジェネラルマネージャーという肩書をお持ちです。平和教育をテーマとしたツアー、戦跡ツアーなどのスペシャリストで、長年フィリピンでの旅行業界でのこうした視察旅行を数多く手掛けておられます。その豊富な太平洋戦争での戦跡ツアーの知識や経験を次世代へ伝えていく教育旅行をテーマとして現在プログラムを開発中だそうです。

まず始めにヒデコさんから日本とフィリピンの戦後についてお話をしてみました。

ヒデコさんにお話しして頂いた戦後の日本とフィリピンの歴史↓



日本における終戦とは 1945 年ですが、フィリピンの人が考える本当の終戦は 1952 年サンフランシスコ講和条約の時だと考えられています。その時にフィリピンから日

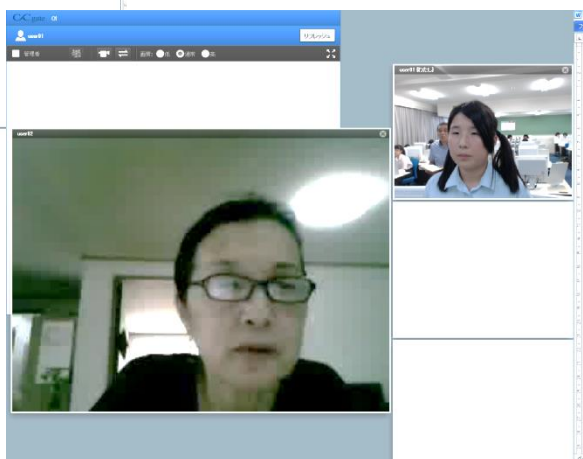
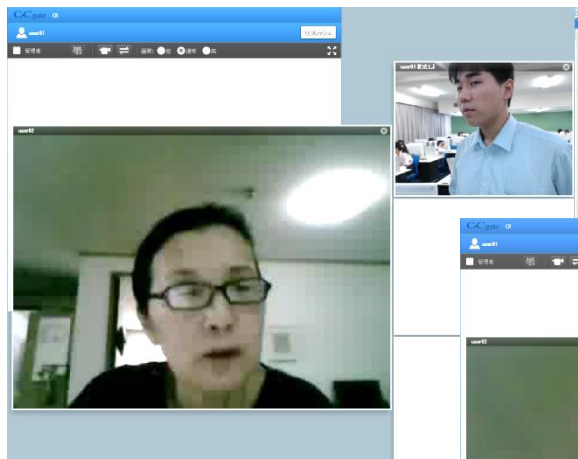
本への賠償金として提案されたのが 80.8 億ドル＝約 3 兆円。当時は国家予算が 1 兆円の時代でしたのでとても日本が支払えるようなものではありませんでした。しかし、当時のキリノ大統領は自身の夫人や子供も日本軍に殺されていましたが「憎しみからはなにも生まれない」と、賠償金を 5.5 億ドルに減額。この寛大な措置により国交は回復し、日本はその賠償金を現金ではなく 20 年かけて労務や資源などで支払っていくことになりました。この賠償によりフィリピンのインフラ整備や技術支援などを日本の企業が担うことになり海外進出の

足掛かりにもなりました。そして 1964 年東京オリンピックの時に渡航が自由化。1976 年に ODA に切り替わり、現在も日本からフィリピンへは引き続き経済や技術支援を続けています。

戦時中のことを知ることも大切だが、若い世代には戦後の成長やアジア諸国との協力、支援についてもっと知ってほしい。そしてそれをこれからの未来につなげていってほしい。そのためには海外の人との対話はとても大切。自分の言葉で直接海外の人と交流しお互い理解しあうことは、よりよい平和な未来を作っていくためにとても重要なことです。若い人たちにはまずコミュニケーションのために語学力を付けるようがんばってほしい。

■生徒からヒデコさんへの質問

現在のフィリピンの人の日本人への印象や、戦時中の親日派と反日派の関係、戦時中、ゲリラが増強していった経緯など突っ込んだ質問が投げかけられました。



今回のお話を聞いた生徒の感想

- ・ 当時のフィリピンの寛大さがあったおかげで国交が回復したのはとても大きなことだと思う。このことを日本は忘れずグローバル化の世界の中で日本の役割を考えて平和な世界を作っていきたい。日本は唯一の被爆国でもあり、世界に対して働きかけていかなければならないと思う。まず僕たちが戦争についてよく知らないといけない。
- ・ 他人事ではなく一人の日本人として考えなければいけない。ヒデコさんが言ってみえたように語学力を伸ばしていかないといけない。高校生の私たちには日比の政治を動かすことはできないけれど、普段の英語の授業を大切に海外の人と気軽に話すことができるようになれば平和にもつながっていくのかもしれないと思った。
- ・ 日本はこれからの国際社会の中で何ができるかということを考えなければならない。このようなことを考える機会もないので今回お話していただいたことを深く考えてみようと思ったし、国際社会と関わるためにはコミュニケーションが必要でそのために語学力を付けたい。英語はそれほど得意ではにけど、これからの日本のために頑張りたい。
- ・ キリノ大統領が「憎しみからは何も生まれない」と日本人を釈放し、賠償額も大幅減額。労務での返済にすることで海外進出のきっかけも作ってくれたことに常に感謝や尊敬の気持ちをもって思いやりを大切にしていくなさと思った。
- ・ フィリピン人のやさしさを日本人も持たなければいけない。そのためには外国の人とのコミュニケーションが必要なこと、語学力が必要なことに激しく賛同する。必要最低限の英語力はつけたい

- ・「戦争に勝者はいない」というヒデコさんの言葉はお互い敗者であると感じました。互いを殺し合い、苦しめあう姿はとても無様で恐ろしい。戦争のおそろしさはよくわからないけど、伝えられてきた人たちの思いをしっかりと受け止めたいし、伝えてあげたいと思う。
- ・当時の戦争で日本を恨んでいるフィリピンの人は多かったと思うが、今のようになれたのはフィリピンの人のやさしさが大きい。戦争をしたという過去は消えません。だからこそ日本はフィリピンが世界に対してもっと協力していく必要があると思う。そして未来の人たちに過去に何があったのかを伝えていかないといけない。
- ・今でも多額なお金が寄付金として送られているが、その援助金が悪用されているとも聞く。お金に頼らない「日本らしい国際貢献」ができるようにすべき
- ・「憎しみからは何も生まれない。許すことで何か前へ進めるのではないか」と考えたキリノ大統領はすごい。日本はこの過ちを二度と繰り返してはいけない。歴史を教訓として世界中が平和に続くことを願います。また、現在はグローバル化が進んでいてその中で必要なのは語学力。今学んでいるのは英語ですが、日本語+英語+もう1か国語を学び話せるようにしたい。そのために今出来ることをしていく。これからもっと勉強をがんばりたい

ヒデコさんのお話を聞いて

9月8日、各グループ毎に「戦争」についてまとめて、10月の文化祭での発表する予定です。文化祭まではあと5回ほどしか授業がありませんのでグループで協力して、まとめていってもらいます。レイテ校の生徒にもいろいろな質問を投げかけています。その回答も踏まえながら深みのある発表にしてほしいです。

